

授業参観日のスケッチ

成長・貢献・感謝



包丁さばきに感動する



美術・ミラー絵本づくり



ゲームでコミュニケーションを図る

18日(土)の授業参観日は、多くの保護者の皆さんが学校を訪れ、大変盛況でした。K先生と1年1組の家庭科の授業では、調理実習に備えて包丁の様々な野菜の切り方・扱い方をモニターでじっくり見ていました。良く切れる包丁と技に感動。2年3組とC先生の美術では、保護者の方が制作の手助け・見本(?)を示していました。造形に関心の高いお母さんでした。3年1組とD先生の英語では、カードゲームで盛り上がりつつあります。英語版神経衰弱? ご参観下さった保護者の皆様のご感想をお待ちしています。

考えを出し合い探求する

羽地中学校
学校だより170号
R2. 1. 22



自分の考えをまわりに理解出来るように伝える

この大切な時間をS先生やH先生と一年の全学期とで共有して編み込み、学んできた成果を次の学習に活かして学び続けてほしいと願います。また、何故、私は教師になったのか、教師として何を学ばせていくのかを問い続ける教師であってほしいと願います。

一年生のみならず、私達も学びたい。知識の伝達だけでなく、授業、楽しんで研究したい。一年生、S先生、H先生お疲れ様でした。



グループで課題を一生懸命に探求する



グループで探求する前に自分の考えを固める

三週間にわたるS先生の国語の検証授業が終了しました。芥川龍之介の小説「トロロ」の「情景描写から書かれていない気持ち」を推し量り、時間を追って主人公に寄り添い「心情を理解し、深めていく」作業は、大変だったと思います。一つの作品を数時間かけて音読したり、感じたこと・考えた事を書いてみたり、それを友達に話してみたりする言語活動を通して、深く解釈し



わからないときは助言をもらう

味わい、自分の考えを表明し表現する時間は、大変な時間と労力と忍耐力が必要とされます。

一年の三クラスは個人でペアでそしてグループで思考を深め学んでみました。この学びは二度と再現できません。毎時間が最初で最後の授業なのです。